

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力をお願い

昭和大学富士吉田校舎では、下記の検討を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### 全寮制教育制度の中での感染症伝搬抑制に関する二酸化塩素の効果に関する検討

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

昭和大学富士吉田寮に在寮の1年次学生を対象として実施する。2017年4月12日～2023年3月31日

#### 2. 研究目的・方法

寮内における発熱性感染性疾患（インフルエンザ、マイコプラズマ感染症、ノロウイルス、新型コロナウイルス等）の伝搬等に対して、既に市販されている二酸化塩素製剤（クレベリン）の感染伝搬抑制効果に関して、非使用群との比較検討を行います。

2020年度においては全寮の全室内に市販品である二酸化塩素製剤（クレベリン）を常時設置し、上記感染症の発症、感染拡大に関して調査を行います。感染伝搬の有無に関しては、発熱（37.5℃が2日以上継続した場合に感染陽性とする）を指標に行い、医師の診断結果を最終判断資料とします。また、2017年度から2019年度における、クレベリンを使用していない期間における各寮内での発熱性感染性疾患の発症数、発症、発症場所、性別を今回の検討の対照群として使用し、二酸化塩素製剤のこれら感染症の感染伝搬、感染拡大に関する抑制効果の有無について検討を行います。また、2021年度、2022年度については、二酸化塩素製剤を使用しない対照試験を実施します。

#### 研究期間

2020年4月10日～2023年3月31日

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

発熱の有無、並びに発熱時の確定診断名。

年齢、性別、在寮寮名

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学富士吉田教育部 氏名：倉田 知光

住所：山梨県富士吉田市上吉田4562 電話番号：0555-22-4403

月曜日～金曜日：8:30～17:00 土曜日：8:30～12:00

研究責任者：倉田 知光